

高橋 方彦

2005 年入会

水産学部・海洋生産学科 卒

今までの経歴を教えてください

造船所勤務：基本設計（7 年間） / 営業（1 年間）

→ 船舶機器商社へ転職：船の省エネ装置等の技術営業（約 3 年間）

→ 本会へ転職：船体部 → 広島支部（インドにおける新造船検査に従事） → テクニカルサービス部/弊社兼務

→ 弊社へ出向（取材時）

造船所では主に新造船の設計業務、船舶部品商社では船舶の省エネ装置等の技術営業を担当し、ご縁があって NK に就職しました。NK では図面審査や現場検査を経験した後、技術サービスに係わる仕事に従事していました。途中、現場検査員としてインドに赴任し新造船プロジェクトに携わったことが忘れられない思い出の 1 つで、船主や造船所の方々そして NK の仲間と共に協力しながら船を一から作り上げる醍醐味を味わいました。今の会社は 8 年目で、新造からシップリサイクルまで船の一生にかかわる仕事ができるので、やりがいを持って仕事に取り組んでいます。

現在のお仕事は？

船舶全般の技術コンサルティング

株式会社 ClassNK コンサルティングサービスにおいて、船舶の改造に係わる設計エンジニアリングや船舶が所持するマニュアル類の作成などを担当しています。NK の子会社である弊社には、顧客である船主様や造船所様から様々な相談が寄せられます。私の仕事は、これらの要望に応えるために様々な知識や技術を融合して弊社のメリット（豊富な知識と技術力で円滑な規則対応を実現）を活かし、より良いサービスを提供することです。最近では、船舶の環境規制の 1 つである SOx 規制に関連し、SOx スクラバ搭載の改造エンジニアリングの提供や、振動問題に悩まされている船舶の振動低減策を提案する業務に携わっています。また、船舶が所持するオペレーションマニュアルの作成等も行っています。スコープの広い仕事や専門的な仕事もあり、社内外の専門家の方々の協力を得ながら顧客要望に少しでも近づけるように努めています。

皆で力を合わせプロジェクトを纏め上げる

未だ途中ですが、SOx スクラバ搭載の改造エンジニアリングのプロジェクトを進めています。この業務は、配置検討に加え、艀装数、復原性、船体縦強度等の多岐に渡る検討を必要とし、社内外の専門家の方々の協力を得ながら進行中です。改造工事が完了するまでは気が抜けませんが、何とせよ成功させたい仕事です。転職する前にこのような仕事に携わりたいことをイメージしていませんでしたが、以前に勤務していた造船所での設計経験と船用機器商社での技術営業の経験が活かされていることを実感しています。親会社の NK もそうですが、弊社も技術・知見・人材を活用しサービスを提供する会社です。弊社には個々に優れた能力を持った技術者がおり、私はそのような素晴らしい仲間と力を合わせ顧客の要望に応えたり問題を解決しながら仕事を纏め上げていくことが楽しくて好きです。

どうして NK を選んだのですか？

船の一生にかかわる仕事ができるから

私は造船所と船舶機器商社の勤務を経て弊社の親会社である NK に就職し、現在に至ります。造船所では主に新造船の設計業務を船舶機器商社では船舶の省エネ装置等の技術営業を担当していました。当時 35 歳でしたが、大好きな船全般の仕事に携わりたいと転職を決意し、新造船から就航船の検査業務等、船の一生にかかわり幅広い事業を展開している NK の中途採用に応募しました。転職を重ねましたので、もうこの次は無い、何でもやりますという気持ちとこれまでの経験が少しでも活かされればという希望を持って採用面接に臨みました。私の気持ちが人事ご担当の方に伝わったのだと信じております。転職当時を振り返りますと反省すべき点も多いですが、以前の会社の方々とは今もおつき合いが続いており、狭い業界ですが船にかかわる仕事を続けて来て良かったと思います。今の会社は 8 年目で、新造からシップリサイクルまで船の一生にかかわる仕事ができるので、やりがいを持って仕事に取り組んでいます。



就活中の方へメッセージ

私の場合、視野は広く、仕事をする上で自分の幹をしっかりと持つように努めてきました。

私は転職を重ねましたので説得力に欠けますが、悩んだ時には基本に戻って考え直すことも重要です。